



2018年4月3日

みちのく未来基金第7期生の集い

～東日本震災遺児の夢をかなえるために～

公益財団法人みちのく未来基金に企業寄付～

2018年3月18日(日)開催
@東北工業大学 八木山キャンパス

東日本大震災発生から7年の歳月が経過しましたが、東北の復興は道半ば、今なお7万人の方々が避難生活を余儀なくされています。

そんな中でも将来の夢をつかみ、未来を担う若者たちが「みちのく未来基金」から羽ばたき、今年も社会へと巣立っていきます。また「みちのく未来基金」の給付で未来の夢をつかむため進学がかなった子どもたちが集まる集いが開催されました。震災により遺児となった子どもたちの高校卒業後の奨学金を無償給付を目的に設立された「みちのく未来基金」。ファミリーマートも企業寄付を行い被災学生の進学を支援をしています。

旅立ちの会

志高く、新たな社会人として、
羽ばたく君たちへ

87名が
卒業



第1期生及び第3期生から87名がこの3月に基金を卒業し、社会へ羽ばたきました。当日の旅立ちの会に参加した29名に、みちのく未来基金からの卒業書が授与されました。卒業生たちは涙ながらにこれまでの学資支援に対して感謝を述べるとともに、震災による喪失感で現実を受け入れられなかった自分たちにとって、みちのくの仲間がおおきな精神的支えだと感謝の言葉をのべてくれました。被災者としての恩返しは意志を持って強く生きること、そして地域振興に役立っていくことと力強く決意をのべてくれました。

寄付金実績
2012年から累計
21,000,000円
(ファミリーマート・ユニー累計)



公益財団法人みちのく未来基金の活動

「震災遺児に進学を夢を！」として東日本大震災により、親を亡くした子どもたちの高校卒業後の進学について、学費を返済不要で全額給付による支援をしている。2011年10月の基金設立から6年間で合計638名の遺児に奨学金を給付。約25年間にわたって進学の支援を行い、支援する学生の総数は約1,300人、給付に必要な奨学金の総額は約46億円を見込み、企業・一般サポーターからの寄付で運営されている。

門出の会

高校を卒業して進学之梦がかなった君たちへ

7期生
87名が
進学決定



2018年4月からは第7期生として新たに87名の進学が決定し、みちのく生となります。また当日の門出の会には72名が参加しました。進学地域は東北が56人、関東等が31人、また学校種別では、大学が57人、短大・専門学校が30人となっています。それぞれ「公務員として復興支援に携わりたい」「震災体験をもとに作業療法士として心のケアに携わりたい」「地域に恩返しできる医療従事者になりたい」「東北の魅力を発信できる学芸員になりたい」と将来の夢とこれからの進学の抱負を語ってくれました。



ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。